

和光琉球 骨盤臓器脱の補助具を販売

「フェミクッション」

骨盤内の子宮や膀胱、直腸などの臓器が下垂し、性器から出てしまう「骨盤臓器脱」に悩む女性に、那覇市の医療機器販売会社「琉球光和」がこのほど、補助具「フェミクッション」の取り扱いを始めた。同社の我如古夏希さんは「誰にも相談できず、一人で悩んでいる人も多いと思う。下腹部の違和感など不快感をかなり軽減できる効果がある」と話している。

骨盤臓器脱は中高年の女性特有の病気です。2人以上の出産経験がある人や、重い物を運ぶ作業(腹圧がかかる)が多い人などに見られる。骨盤や子宮の筋力低下などが原因。排尿障害や下垂症状で気分が悪くなったり、人に言えずに悩み、外出を控え精神的にうつ状態になる人もいます。

フェミクッションは、半卵型のシリコン製クッションと、布製のホルダー、専用ガードルの3点セット。クッションをホルダーに固定し、専用ガードルに装着し使用する。我如古さんは「生理の時はナプキンも使用可能。完治するわけではないが、生活の質を維持しながら、この病気と長く付き合う一助になる」と説明した。

これまでの治療方法は繊維を網状に編んだメッシュを、臓器と膈壁の間に挿入し、骨盤の筋肉を補強するメッシュ手術やプラスチックのリングを子宮に入れるベッサリー療法、軽症であれば骨盤底筋体操だったが、フェミクッションは新たな治療の選択肢になる。



フェミクッションを手に「いずれはお互いに悩みを打ち明けられる患者会ができれば」と話す我如古夏希さん(那覇市西)

昨年秋ごろから使用している50代の介護職の女性は、医師から手術を勧められてショックを受けたが、現在は手術せずに快適に日常生活を送っているという。

臓器が体内に入っているとおむけに寝た姿勢で、装着するというのが煩わしさが難点となっている。

複数のサイズの3点セットと付属品が入ったスターターキットは、1万9950円。問い合わせは、琉球光和 098(863)1251。